

IFS 2024

Fish as a Global Food Resource

第12回国際水産シンポジウム (IFS2024)

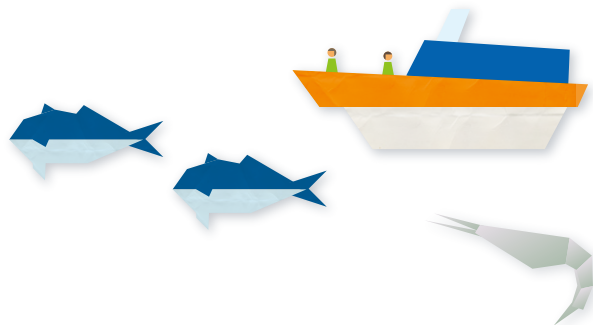
協賛趣意書

IFS2024 実行委員会
北海道大学水産科学研究院内



HOKKAIDO
UNIVERSITY

第12回国際水産シンポジウムの 函館開催にあたり



国際水産シンポジウム (International Fisheries Symposium/IFS)は、東南アジア漁業教育ネットワーク (ASEAN Fisheries Education Network/ASEAN-FEN) が主催する年次大会です。

ASEAN-FENは、東南アジア地域の漁業・養殖業を中心とした教育を行なう大学で構成されるコンソーシアムです。ASEAN-FENは9大学、すなわちマレーシア・トレンガヌ大学 (マレーシア)、マレーシア・セインズ大学 (マレーシア)、カントー大学 (ベトナム)、ノンラム大学 (ベトナム)、カセサート大学 (タイ)、プリンス・オブ・ソククラ大学 (タイ)、ラジャマンガラ工科大学 (タイ)、エアランガ大学 (インドネシア)、ブラウィジャヤ大学 (インドネシア)の合意により2011年に設立されました。ASEAN-FENは、漁業・養殖業に関する地域的、国家的、国際的な問題に対応する教育者、研究者、研究機関や大学の活動を支援し、促進することを目的としています。

ASEAN-FENの会員は、コアメンバー、アソシエイトメンバー、プラスメンバーに区別されます。ASEAN-FENを創立した大学がASEAN-FENを運営するコアメンバーとして、順次加入したASEANの大学をアソシエイトメンバー、また、ASEAN以外の大学はプラスメンバーとして構成されています。現在、ASEAN-FENは、マレーシア、ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン、ミャンマー、カンボジア、ラオス、ブルネイ、日本、中国、フランスの大学からなる10のコアメンバー、27のアソシエイトメンバー、5つのプラスメンバーで構成されています。北海道大学は、日本を代表して2016年に最初のプラスメンバーとして加盟し、今日に至っています。

IFSは、コロナ禍の時期を除いて毎年開催されています。例年400名を超える参加者が各国から集まり、漁業・養殖業に関する幅広い研究に関し、基調講演、口頭発表、ポスター発表、ブース展示等を通じ、交流とネットワーキングが行われます。

ご存じの様に、世界の水産資源の三分の一は乱獲状態にあると言われ、世界の漁獲量は頭打ちとなっています。日本周辺を含め、ほとんどの地域で漁獲量が頭打ち、あるいは横ばいになる中、東南アジア周辺海域だけは漁獲量が増加し続けています。また、養殖業の発展もめざましく、経済的にも発展を遂げて、日本が輸入できる水準の水産物、水産加工品が生産されています。この発展と生産力には、近年、中国や欧州も強い興味をしめしていますが、日本は、50年以上前から、ASEAN各国水産当局の政府間国際機関である東南アジア漁業開発センター (SEAFDEC) を通じて積極的な開発援助を行うなど長い友好の経緯があります。

東南アジアには1,000を超える大学に水産学部があると見られますが、ASEAN-FENは、研究に主眼を置いた上位の大学の連合体であることから、各国水産当局 (水産庁等) の職員の大半がASEAN-FEN加盟大学の出身者です。また、日本企業が取引するASEAN各国の大手水産企業の大要職を占める方々も、ASEAN-FENの出身である可能性が高いと考えられます。そのため、IFS2024での交流やネットワーキングは、大きな広がり発展することが期待されます。

ASEANの水産教育関係者、今後のASEANの水産を担う優秀な学生たちを、函館にお招きする機会を得たことは大変光栄であり、この好機を是非、皆様にもお分けしたく、協賛のご案内を申し上げます。

実行委員会では、IFS2024を実りあるものとすべく、尽力いたしますので、是非、趣旨をご理解いただき、皆様のご支援とご協力を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

IFS2024 実行委員長

松石 隆

(北海道大学水産科学研究院 教授)

函館開催の経緯

従来は、コアメンバーが持ち回りでASEAN各国において開催されてきましたが、2022年はアソシエイトメンバーであるニャチャン大学がホストとなりベトナムのニャチャンで開催、2023年はプラスメンバーであるアジア工科大学がホストとなりタイのバンコクで開催しました。現在、ASEAN-FENメンバー大学の水産学部長や要職を務める方たちの多くが日本の大学の出身であることもあり、日本での開催を求める声が強くなり、この度、北海道大学水産科学研究院内に実行委員会をおき、第12回国際水産シンポジウム(IFS2024)をホストすることとなりました。ASEAN地域外での開催は今回の日本(函館)が初めてとなります。過去6年間の実施状況は以下の通りです。

過去6年間の実施状況

回	開催年月日	開催地	参加人数
第11回	2023年11月21～24日	タイ王国・バンコク	420名
第10回	2022年12月4～7日	ベトナム・ニャチャン	350名
第2回 ウェビナー	2021年12月18日	オンライン	250名
第1回 ウェビナー	2020年10月9～11日	オンライン	250名
第9回	2019年11月17～21日	マレーシア・クアラルンプール	600名
第8回	2018年11月17～21日	タイ王国・ハッチャイ	600名

開催計画の概要

開催日程

月日	午前	午後	夜間
11月19日(火)		設営/参加登録	参加登録
11月20日(水)	開会式	口頭発表/ポスター発表	ASEAN-FEN運営委員会
11月21日(木)	口頭発表/ポスター発表	口頭発表/ポスター発表	閉会式・バンケット 会場撤収
11月22日(金)	エクスカージョン		

主要トピック

東南アジアの漁業・養殖業および国際的な食資源問題に関する以下の研究
漁業学/生物学/養殖学/環境科学/生化学/食品科学, 食品加工技術/
社会科学/国際食資源学/その他

参加予定者

● 国内 70名 ● 海外 330名 合計400名
参加予定国・地域
インドネシア, カンボジア, シンガポール, タイ, フィリピン, ブルネイ, ベトナム,
マレーシア, ミャンマー, ラオス, 日本, 中国, 台湾, フランス, 他

会議使用言語

英語

協賛を必要とする理由

IFS2024は、国内外からおよそ400名の参加が予定され、開催準備・運営等に関する総費用は1,400万円が見込まれています。これらの諸経費は、本来参加登録費等でまかなうことが建前ではありますが、多くの参加者が開発途上国のものであり、特に若手研究者に高額な参加登録費を求めれば、海外からの参加者数が減り、ひいては本会の趣旨である国際連携・情報共有の場としての意義を失いかねません。むしろ、開発途上国の研究者や次世代を担う若手研究者・学生には積極的な参加を促し、水産分野コミュニティの発展に資することが実行委員会には求められています。一方で、従前のIFSと同等の水準を満たすためには、経費節減にも限りがございます。

これらの事由により、総支出額1,400万円から、参加費自己負担額1,050万円、助成金100万円を除いた250万円につきまして、水産関連諸企業、団体、支援者の皆様から是非ともご協賛を賜りたく存じます。

収支予算案

収入の部

項目	金額(単位:千円)
参加費	10,500
補助金等	1,000
協賛金	2,500
収入合計	14,000

支出の部

項目	金額(単位:千円)
会議準備費	600
会議運営費	8,840
業務委託費	4,560
支出合計	14,000



協賛金募集要項

名称	IFS2024協賛金
目標金額	2,500,000円(総額 14,000,000円のうち)
募集期間	2024年6月15日～2024年10月31日
協賛金の使途	IFS2024の準備, 運営の一部に充当します。
協賛申込先	IFS2024実行委員会 〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1 北海道大学水産科学研究院内 Tel: 0138-40-8847 Mail: ifs2024@fish.hokudai.ac.jp

協賛形態

ブース展示

1区画(270cm×110cmを予定) 料金:80,000円～ ※1名参加料(バンケット, 昼食付き)込み
11月19日午後設営/11月20日～21日展示/21日夕方撤収

- 参加者のほとんどは日本語がわかりません。全員英語がわかります。
- 英語対応にお困りの場合, 英語のできる学生(TOEIC700点以上)を紹介いたしますので, 展示物作成や当日の対応でのアルバイト雇用をご検討ください。(時給1,300円)
- 電源等が必要な場合は御相談ください。(有料)

プログラム・ホームページ・バナー掲載

1枠 2万円～ ※掲示素材はイラストレータファイルで供給いただきます。

印刷物の全参加者配付

1点 2万円～ ※封入作業1名の参加をお願いいたします。

ミニシンポジウムの開催

2時間 20万円～

- 口頭発表会場1区画を占有し, 企画者の指名する発表者による口頭発表および討論を行います。
- ミニシンポジウムは参加者全員に公開されます。
- 参加者は9月30日までに, 別途参加登録と口頭発表申込ならびに要旨を提出する必要があります。
- ミニシンポジウムのタイトル, 開催趣旨, 参加者の要旨は, 全体の要旨集に掲載されます。

会議の概要

会議の名称 第12回国際水産シンポジウム (IFS2024)
The 12th International Fisheries Symposium (IFS2024)

会議のテーマ 世界の食料としての水産物
Fish as a Global Food Resource

主催・共催などの名称

主催 東南アジア水産教育ネットワーク
ASEAN Fisheries Education Network (ASEAN-FEN)
<https://aseanfen.org/>

共催 IFS2024実行委員会
IFS2024 Steering Committee
<https://ifs2024.aseanfen.org/>

助成 現時点で以下の助成を受けることが決まっています。
公益社団法人 北海道観光振興機構
函館市
公益財団法人 北水協会

開催概要

開催期間 2024年11月19日(火)～22日(金)〈本会議2日間〉

開催場所 函館市民会館・函館アリーナ(函館市湯川町1丁目32番1号)

開催責任者 IFS2024実行委員会
委員長／松石 隆(北海道大学水産科学研究院 教授)

事務局 〒041-8611 函館市港町3丁目1番1号
北海道大学 水産科学研究院内
Tel: 0138-40-8857
Mail: ifs2024@fish.hokudai.ac.jp

